

JAETP 特定非営利活動法人
日本臨床運動療法学会

創刊号

News

Letter

Japanese Association of Exercise therapy and Prevention

ご挨拶 日本臨床運動療法学会の使命と課題

日本臨床運動療法学会 理事長 後藤 葉一 公立八鹿病院 院長



昨年度より神原啓文前理事長の後任として本学会理事長を拝命しております後藤葉一です。このたび本学会ではメール配信による会員向けニュースレターを創刊することになりましたので、この機会に一言ご挨拶申し上げます。

特定非営利活動法人「日本臨床運動療法学会 (Japanese Association of Exercise Therapy and Prevention; JAETP)」は、疾病の治療および予防法としての運動療法に関する基礎・臨床研究を推進し、わが国において運動療法の広範な普及と質の向上を図り、国民の健康増進・健康長寿に寄与することをめざす学術団体です。本学会の前身は1988年に創設された「臨床運動療法研究会」で、2013年に研究会から学会に組織移行しました。学会移行後、初回の年次学術集会は2014年に開催されましたが、それまで32回にわたり開催されてきた「臨床運動療法研究会」の歴史を引き継いで第33回学術集会とされ、今年(2022年)の学術集会は第41回となりました。

近年、運動療法は、冠動脈疾患・心不全・末梢動脈疾患(PAD)などの心血管疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患、糖尿病・肥満などの代謝疾患の治療と予防に有効であるだけでなく、社会的問題となっているフレイル・サルコペニアや認知症の予防にも有効とされ、その重要性が再認識されています。その一方で、学術的には疾患別の最適運動処方や有効性の機序など未解明の点も多く、また社会的には、近年急増しつつある慢性多疾患保有高

齢者と糖尿病・肥満・メタボリック症候群保有若年者の両方に対して有効性が期待されるにも関わらず普及がいまだ不十分という大きな課題が残されています。

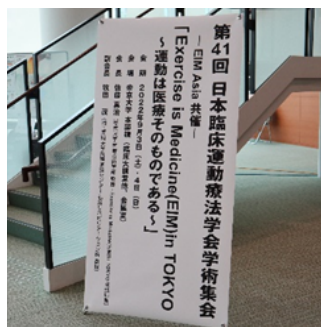
本学会は、運動療法に関する研究や情報発信を促進し、わが国において運動療法の広範な普及と質の向上を図り、ひいては健康長寿社会を実現するために、医師、看護師、理学療法士、健康運動指導士、管理栄養士、薬剤師、公認心理士、保健師、研究者、体育関係者、行政関係者などの幅広い職種が集う職種横断的かつ疾患横断的・領域横断的な学会です。したがって学会がめざすべき方向性や情報を会員が共有することがきわめて重要です。その点で、今回創刊され今後2ヶ月毎に配信されるニュースレターにより、本学会会員が学会運営や学会活動に関する情報を共有する結果、運動療法に関するさまざまな活動が活性化・円滑化されることに加えて、本学会会員としてのアイデンティティが高まることにより本学会の活性化や発展が促進されることを期待しています。

本学会の定款第3条には、「この法人は、広く社会に対して、臨床運動療法に関する研究及びその臨床応用を図り、さらにこの分野の教育と普及に努め、臨床医学の発展を通して国民の健康福祉の増進に寄与することを目的とする」と記載されています。今後、ニュースレターをはじめ、学術集会、学会誌発行、その他の活動により本学会活動が大きく活性化され、会員数や学会発表・論文発表が増加し、ひいては本学会の最終目的である運動療法の普及・発展とそれによる健康長寿社会の実現が達成されることを期待します。そのために会員諸氏の学会活動への積極的なご協力とご尽力をお願い申し上げます。

(2022年10月31日)

第41回日本臨床運動療法学会学術集会報告

帝京大学 医療技術学部 教授 佐藤 真治



2022年9月3日(土)、4日(日)に、帝京大学本部棟臨床大講堂（東京都板橋区）にて第41回日本臨床運動療法学会学術集会が開催されました。私は大会長を拝命し、テーマを「Exercise is Medicine (EIM) in TOKYO」とさせていただきました。EIMが意味するところは「地域における医療と運動の橋渡し」です。異なるものに橋が架かる時、その間（あわい：あいまいな境界）に共感と調和、共に生きる知恵が立ち上がります。そんなことを期待して、プログラムはあえて異なるものを掛け合わせました。

「医療×ウェルビーイング」、「演劇×健康」、「まちづくり×ラジオ体操」、そして、「アジア×日本」。結果、それぞれの現場で、誰も考えていなかった運動療法の形が導かれ、大いに盛り上がったと思います。

最後に、本大会では大勢のボランティアスタッフが献身的に・楽しそうに運営を支えてくれました。この場を借りて、あらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



EIM Asia Meeting 2-3 Sept. 2022 Tokyo, Japan

Information①

各種委員会設置の案内

日本臨床運動療法学会に各種委員会が設置されました。
各委員会の委員長、メンバーは次回ニュースレターでご案内します。

総務委員会

定款整備委員会

JAETP WebCC委員会

学会ステートメント準備委員会

広報委員会

編集委員会（既設）

学会等連携委員会

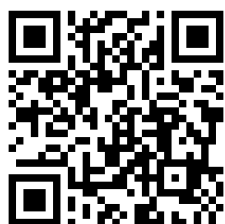
活性化委員会（既設）

Information②

JAETP Web CC (ケースカンファレンス)

これまで関西医科大学健康科学センターを中心に医療と連携した運動療法につき、各施設から施設紹介と症例の報告会を開催してきました。今回からJAETP公式勉強会として、月1回開催していくこととなりました。第1回は事務局よりメールでお知らせしましたが、2022年11月4日(金)に下記内容で開催されました。今後の予定は以下の通りです。初回のみ登録が必要です。学会員は、オンデマンド視聴も可能です。下記URLからお入り下さい。

URL : [JAETP Web CC](#)



第1回 JAETP Web CC 2022年11月4日(金) 18:30～

演者 : 熊本機能病院併設 熊本健康・体力づくりセンター
課長 山下 亮 先生

演題名 : 近隣医療機関との連携下で実施した指定運動療法施設での
運動療法 一心疾患患者を症例にしてー

所属施設 : [熊本機能病院併設 熊本健康・体力づくりセンターHP](#)

次回案内

2022年12月9日(金) 18:30～

演者 : 医療法人社団 涓泉会(けんせんかい) 山王リハビリ・クリニック
疾病予防型運動施設 「ウェルネスジム山王」 施設長 平林 克之 先生

所属施設 : [疾病予防型運動施設 「ウェルネスジム山王」HP](#)

Information③

次回学術集会の案内

学会場の都合で以前告知した日程が変更となっています。ご確認宜しくお願い申し上げます。

第42回日本臨床運動療法学会学術集会 2023 10/14(土) ▶ 15(日)

サルコペニア・フレイルと運動療法～予防から治療まで～

会場：

獨協医科大学 本院
東武宇都宮線
おもちゃのまち駅下車



関湊記念ホール

会長：

中島 敏明
獨協医科大学 医学部
特任教授

